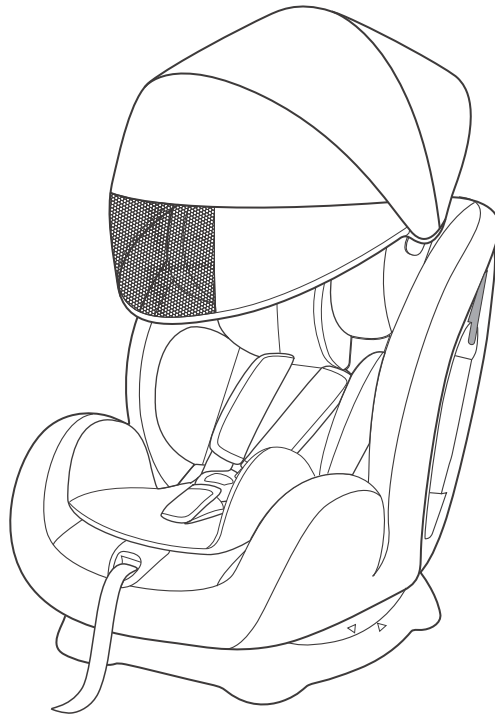


Valiant ジョイ・チャイルドシート 取扱説明書／保証書

適応体重：25kg 以下
年齢の目安：7歳頃まで
身長の目安：120cm 以下
ECE.R44/04 G0+/1/2



本製品は、取り扱いを誤ると、お子さまばかりでなく他の乗員や本製品を使用する保護者の方にも危険がおよぶおそれがあります。必ず本取扱説明書を熟読し、内容を正しくご理解いただいたうえでお使いください。

このたびは、ジョイ・チャイルドシートをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャ

イルドシートです。本取扱説明書は、本体背面の取扱説明書ホルダーに保管して、必要なときにいつでも参照できるようにしておいてください。

もくじ／本取扱説明書の保管

もくじ

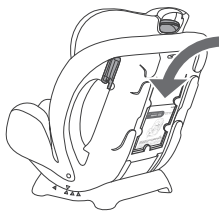
本取扱説明書の保管	- 2
ユーザー登録のお願い	- 3
チャイルドシートについて	- 3
自動車との適合について	- 3
表記の説明	- 4
お使いいただくことのできるお子さま	- 5
取り付け・使用できない座席	- 6
座席シートベルトの種類の確認	- 7
最初にご確認ください	- 8
各部の名称	- 9
禁止事項	- 10
緊急時の操作	- 12
自動車の座席について	- 12
リクライニングの操作	- 13
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整	- 14
バックルの使いかた	- 14
ベビーモードでの使用方法	- 15
ベビーモードの使用範囲	- 15
ソフトパッドの使いかた	- 15
リクライニングの設定	- 16
肩ベルトの高さ調整	- 16
自動車の座席への取り付けかた	- 16
取り付けの確認	- 19
ベビーモードでのお子さまの乗せかた	- 19
肩ベルトの長さ調節	- 19
ベビーモードでのお子さまの降ろしかた	- 20

チャイルドモードでの使用方法	- 21
チャイルドモードの使用範囲	- 21
ソフトパッドの取り外し	- 21
リクライニングの設定	- 21
肩ベルトの高さ調整	- 21
自動車の座席への取り付けかた	- 22
取り付けの確認	- 24
チャイルドモードでのお子さまの乗せかた	- 24
チャイルドモードでのお子さまの降ろしかた	- 25
ジュニアモードでの使用方法	- 26
ジュニアモードの使用範囲	- 26
リクライニングの設定	- 26
ジュニアモードの準備	- 26
ジュニアモードでの使用	- 29
ジュニアモードでのお子さまの乗せかた	- 29
肩ベルトの高さ調整	- 30
使用前の確認	- 30
お手入れのしかた	- 30
お手入れの準備	- 31
カバー類の取り外し	- 31
ソフトパッドのお手入れ	- 33
汚れの落としかた	- 33
本製品の廃棄について	- 34
キャンピシーの使用法	- 35
キャンピシーの取付方法	- 35
キャンピシーの取外し方法	- 35
キャンピシーの使用法	- 35

本取扱説明書の保管

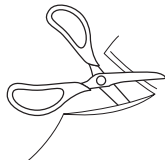
本取扱説明書は、本体背面の取扱説明書ホルダーに保管して、必要なときにいつでも参照できるようにしておいてください。

ご不明な点がございましたら、そのままにせず、本取扱説明書末尾に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



警告

お子さまが被るなどすると、窒息などの重大な事故につながるおそれがありますので、本製品の梱包に使用されているビニール袋類は、開梱後、直ちに破るなどしたうえで、お子さまの手の届かない所に廃棄してください。



ユーザー登録のお願い

本製品を安全にご使用いただくため、国土交通省の推奨によって、ユーザー登録をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準であるECE基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するように製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合には、直ちに、その製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報は、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

●お預かりしたお客様の個人情報の利用目的
本製品の安全性に関わる情報の伝達に限ります

●お客様の個人情報の開示範囲
上記の利用目的のために必要となる範囲に限ります。なお、お客様に情報の伝達を迅速に行うために必要となる業者等を含みますが、この場合においても、他の目的にお客様の個人情報が利用されないよう厳格に指示いたします。

同梱のユーザー登録ハガキに必要事項を記載の上、投函いただきますよう、お願い申し上げます。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、交通事故の際の衝撃や、自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまが正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格が適さない状態で使用したり

すると、交通事故や急制動時に、本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本取扱説明書および本製品本体の表示に従って、常に正しくご使用いただき、また、どれほど短い距離のドライブであろうとも、常に安全な運転を心がけるようにしてください。

自動車との適合について

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって固定、または3点式シートベルトが装備された自動車の座席に設置して使用します。ただし、3点式シートベルトでも、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

また、本製品は、全ての自動車、全ての座席で使用

できるものではありません。以下のホームページに掲載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は、適宜更新しております。




<http://www.katoji.co.jp/>

表記の説明



表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただくべき事項を、「危険」「警告」「注意」に区分して強調して表記しております。この表記に付随して記載されている内容を無視する

と、本製品を使用するお子さまや保護者の方、また、周りにいる方に重大な損害をおよぼすおそれがあります。

 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調表記について


	この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。
	この印に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

本書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、

誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。

その他の表記について

 ポイント！

「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたい大事な情報、また、本製品をより便利に使用していただくための各種の情報です。

お使いいただくことのできるお子さま





お使いいただくことのできるお子さま

本製品は、欧州のチャイルドシート基準のECE R44/04に適合するコンバーチブルタイプのチャイルドシートです。

本製品では、お子さまの体重に合わせて、3種類のモード（ベビーモード、チャイルドモード、ジュニアモード）でお使いいただくようになっており、そ

れぞれ、下図の範囲でご使用いただけます。

この範囲を無視して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できないばかりか、思わぬ事故につながるおそれがありますので、記載内容をご確認いただき、必ず、適切なモードで使用するようにしてください。

モード	ベビーモード	チャイルドモード	ジュニアモード
お子さまの体重	18kg 以下 <small>ただし、足がはみ出すなど、ベビーモードでは窮屈になった場合はチャイルドモードで使用する事 9kg 以上になるまでは、チャイルドモードで使用する事</small>	9kg 以上 18kg 以下	15kg 以上 25kg 以下
年齢の目安	～ 4 歳頃	1 歳頃 ～ 4 歳頃	3 歳頃 ～ 7 歳頃
身長目安	～ 100cm くらい	80cm くらい ～ 100cm くらい	100cm くらい ～ 120cm くらい
リクライニング設定	4 段目 青い▲マーク	1 ～ 3 段目 赤い▲マーク全て	1 ～ 2 段目 赤い▲マークの一部
お子さまの固定方法	本製品の乳幼児ベルト	本製品の乳幼児ベルト	自動車のシートベルト
ソフトパッド	生後 6 か月頃まで使用します	使用禁止	使用禁止
ベルトクリップ	 使用します	使用禁止	使用禁止
取り付けの向き	進行方向に対して 後ろ向き取り付け  ← 進行方向	進行方向に対して 前向き取り付け  ← 進行方向	進行方向に対して 前向きに設置  ← 進行方向

ポイント！

ベビーモードとチャイルドモード、チャイルドモードとジュニアモードにおいて、適体重量が重複する期間は、お子さまの年齢や身長を目安として、使用するモードを選択してください。

お使いいただくことのできるお子さま／取り付け・使用できない座席

警告

●本製品の適合する ECE 基準は、体重によって規定されています。お子さまの体重に応じたモードでご使用ください。各モードにおいて体重が重複している部分ありますが、この範囲のお子さまは、身長や年齢の目安を参考に、お子さまの体格に合わせてモードを選択してください。

●25kg 未満のお子さまで（ジュニアモード）、体重が適しているも、本製品にお子さまを正しく座らせた際に、お子さまの肩の高さが、本製品の肩ベルトガイドの位置よりも高くなった場合には、本製品の使用を中止してください。



取り付け・使用できない座席

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって固定、ジュニアモードでは3点式シートベルトが装備された自動車の座席に設置して使用します。ただし、3点式シートベルトでも、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。また、本製品は、全ての自動車、全ての座席で

使用できるものではありません。以下のホームページに掲載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は、適宜更新しております。

<http://www.katoji.co.jp/>

危険

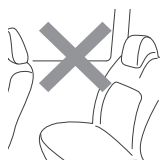
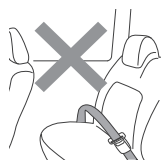
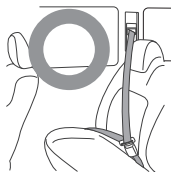


以下に示す、座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

●3点式シートベルト以外の座席。

座席シートベルトが装備されていない座席、2点式シートベルト（後部座席の中央座席を含む）、5点式シートベルトによる本製品の使用はできません。

必ず、3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。



危険

●適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席。

適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

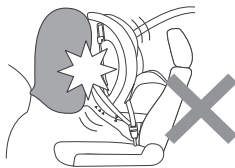
●フロントエアバッグが機能している座席での後ろ向き取り付け。

後ろ向き取り付け時にフロントエアバッグが作動すると、急激な衝撃によって、本製品が押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

車の種類によっては、チャイルドシートを取り付けるために、フロントエアバッグの機能を停止させる機能が装備されている場合があります。

フロントエアバッグの機能を停止させる方法については、自動車の取扱説明書をご確認ください。

※カーテンエアバッグ、サイドエアバッグのみの場合は使用できます。



取り付け・使用できない座席／座席シートベルトの種類の確認

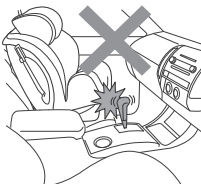
⚠危険

●パッシュシートベルトの座席。

ドアを開めると自動的に座席シートベルトが装着できる、パッシュシートベルトの座席では、本製品を使用できません。

●本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席。

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。



●本製品が安定しない座席。

レース用のシートなどの極端な凸凹がある座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため、取り付けることができません。

適合車種でも、限定モデルにおいて特殊な座席が付いている場合、また、座席そのものが交換されているなどする場合もありますので、特にご注意ください。



⚠危険

●乗員の脱出に影響を与える座席。

2ドア車の助手席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出できなくなるおそれのある座席では、使用できません。

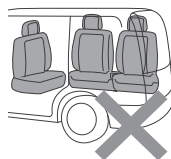
実際に本製品を座席に取り付け固定、使用する前に、緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



●前向き以外の座席。

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付け、使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも使用できません。



●その他、しっかり取り付けられない座席。

座席の形状やサイズ、座席シートベルトの長さ、シートベルトバックルの高さや前後の位置、などが影響し、本取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない座席では、使用できません。

座席シートベルトの種類の確認

本製品は、ECE R16に準拠した3点式シートベルトを装備した、進行方向に対して前向きの自動車の座席で使用するように設計されております。

3点式シートベルトでも、種類によっては、本製品が正しく取り付けられなかったり、適切に使用できない可能性があります。次の図の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

⚠危険

シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付け、使用できない場合があります。取り付け、使用可能な車種については、以下のホームページに掲載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載のお客様サービスにお問い合わせください。適合車種一覧で、取り付け不可、使用不可、とされている車種、座席では、絶対に取り付け、使用しないでください。

<http://www.katoji.co.jp/>

座席シートベルトの種類の確認／最初にご確認ください

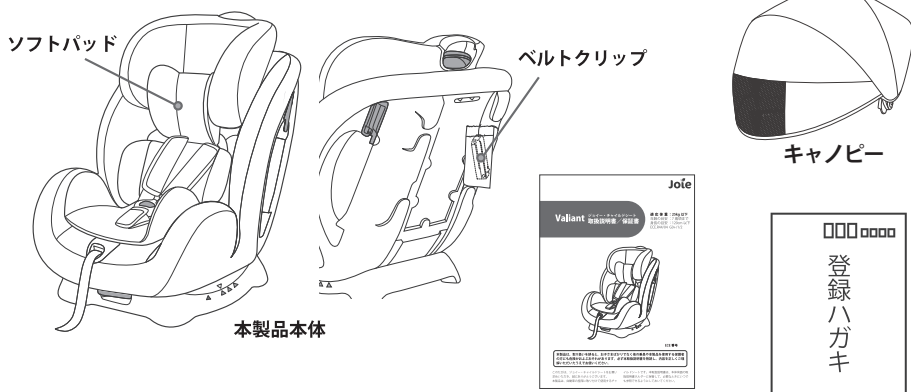
シートベルトの種類	機能・特徴	取付可否	取り付けの注意点
ALR 自動ロック式 ベルト巻取り装置	シートベルトを引き出して途中で止めるとその位置で固定され、戻す方向にしか動かなくなる（それ以上引き出せなくなる）。最後まで戻しきると固定機能が解除される。	×	取り付けできません。
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
NR	固定機能がなく、どの状態でもシートベルトの引き出し、戻しができる。	×	取り付けできません。
ELR/ALR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常時は ELR として機能。シートベルトを最後まで引き出すと、ALR に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再び ELR に切り替わる。	○	ELR モードで取り付けてください。ALR に切り替わってしまった場合には、シートベルトを最後まで引き戻して、ELR モードに切り替えてください。
その他のシートベルト	パッシブシートベルト・2点式・5点式シートベルトなど。	×	取り付けできません。

※中古車や、ディーラー限定モデルなどの特別仕様車の場合には、座席やシートベルトの種類が自動車の取扱説明書の内容と異なることがあります。確認できなかった場合には、自動車のメーカーや、自動車をお買い求めになったディーラーにお問い合わせください。

最初にご確認ください

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものがそろっているかどうか、確認してください。足りないもの、破損しているものがある場合、その

ままご使用にはならず、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本書（取扱説明書 / 保証書） ユーザー登録ハガキ

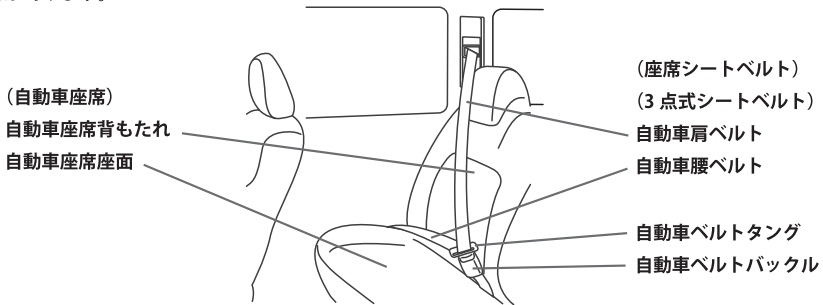
各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いております。本取

扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。

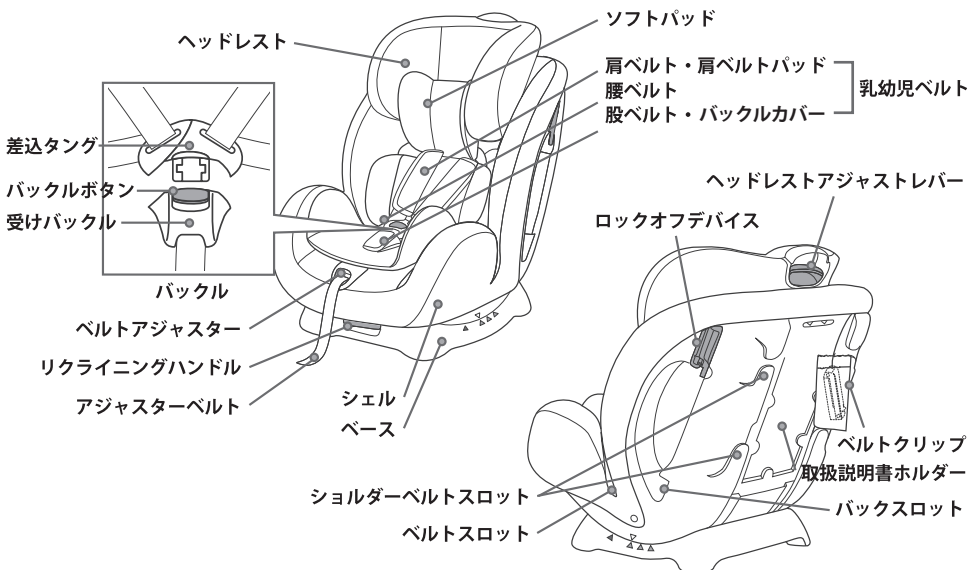
●自動車に関わる部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。特に、シートベルトやバックルなど、自動車と本製品で同様名称の部位、部品がありますので、これらを区別するため、本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用いている箇所があります。



●本製品に関わる部位、部品の名称

※文中において、肩ベルト、股ベルト、腰ベルトを総称して、乳幼児ベルトと表記している箇所があります。※本取扱説明書は、常に「取扱説明書ホルダー」に保管し必要に応じていつでも参照できるようにしておいてください。



禁止事項

禁止事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい事柄や、「してはならない」禁止事項について説明しております。

⚠ 危険



危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

●本製品を正しく自動車座席に固定、設置しない。

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示に従って、正しく自動車座席に固定、設置してください。正しく固定、設置されていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

●お子さまを正しく固定しないで使用する。

本取扱説明書の記載に従い、正しくお子さまを固定してください。規定された体重に適さないお子さまに使用したり、乳幼児ベルト、座席ベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の姿勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



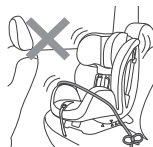
●条件に適さないお子さまに使用する。

本製品は、欧州のチャイルドシート基準の ECE R44/04 に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き取り付け、または前向き取り付け、または前向き設置）、定められています。P5「お使いいただける対象のお子さま」の条件に満たない、または超えたお子さまは、本製品を使用してはいけません。

⚠ 危険

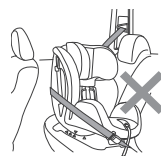
●自動車の座席シートベルト以外での取り付け。

本製品は自動車の座席シートベルトによって取り付けます。ヒモやベルトなど座席シートベルト以外で本製品を取り付け、固定してはいけません。また、座席シートベルトで取り付けられた本製品に、更にヒモやベルト、テープなどで補強してはいけません。通常のご使用中でも、ヒモやベルトにお子さまの首が絡むなどして、窒息するなどの重大な事故につながるおそれがあります。



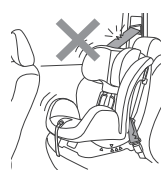
●指定以外の向きでの座席への取り付け、使用。

本製品は、所定の条件によって、自動車の座席に、後ろ向き、または前向きに取り付け、使用します。横向きなど、本取扱説明書に記載されていない向きで使用してはいけません。



●損傷した座席シートベルトでの取り付け、使用。

損傷している座席シートベルトで本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際に座席シートベルトが切断し、本製品が座席から外れ、お子さまや他の同乗者が死亡または重傷を負うおそれがあります。



●強い衝撃を受けた本製品／損傷した本製品の使用。

落下、車のドアで強くはさむ、交通事故にあつたなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、本製品が安全に機能しない可能性があります。また、損傷のある本製品を使用してはいけません。



警告



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

●走行前に本製品の状態を確認しない。

走行前には、本製品が正しく自動車の座席に取り付けられているかどうか、かならず確認してください。お子さまや、他の乗員などが、本製品に触れたり、固定している自動車の座席シートベルトに触れたりして、本製品の取り付けがゆるんでしまっている可能性もあります。



●本製品を固定せずに座席に置く。

お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、他の同乗者にあたるなどして、死亡または重傷を負うおそれがあります。



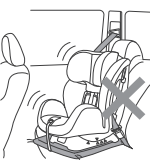
●本製品を取り付けた後に自動車の座席のリクライニングを操作する。

本製品を取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニングを操作すると、取り付けがゆるむなどして、交通事故や急制動の際に本製品が自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



●本製品の下にクッションや敷物などを敷く。

座布団やクッションなどの敷物を置いた自動車の座席の上に本製品を取り付けてはいけません。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品を正しく取り付けた際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

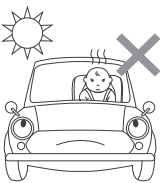


●お子さまの状態を確認しない。

本製品の使用中、年齢の低いお子さまにご使用いただいている場合は特に、適宜、安全な場所に自動車を停めてお子さまの状態を確認するようにしてください。

●お子さまを車内に放置する。

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、本製品から抜け出ようとして、乳幼児ベルトに絡まり窒息したり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



警告

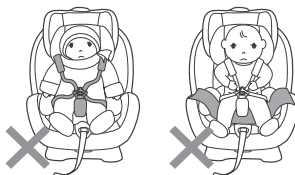
●走行中に本製品を操作する。

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作してはいけません。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



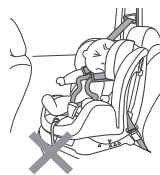
●不適切な着衣での使用。

事故や急制動の際に、本製品が正しく機能しなくなるおそれがありますので、厚みのあるダウンジャケットなどの厚着や、おくるみなど、両足が出ない(股ベルトを両足で挟めない)構造の着衣で本製品を使用しないでください。また、毛布や座布団などの敷物を本製品の座席にしかしないでください。



●シートベルトがゆるんだ状態で使用する。

乳幼児ベルト、座席シートベルトは、常に適切な状態で使用してください。交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したりするおそれがあります。また、これらのシートベルトがゆるんでいると、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



●本製品の改造と指定外部品の使用。

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品の改造、指定外部品への交換、本製品に同梱されていないアクセサリや部品を本製品に取り付けて使用しないでください。



●本製品の部品を取り外して使用する。

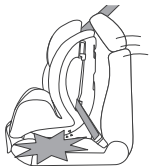
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバーや、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

禁止事項／緊急時の操作／自動車座席について

警告

●本製品に過度の負担をかける。

本製品に損傷を与えるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また、過度の負担が掛かると、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性もあります。



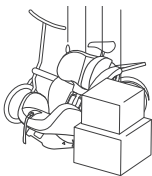
●中古品および劣化した本製品の使用。

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、使用してはいけません。また、部品の劣化の影響などにより、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、購入日から7年を経過した本製品は使用しないようにしてください。



●不適切に保管する。

部品の劣化が早まったり、正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。



注意

注意

以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷を負ったり、本製品またはその他の物品に損傷をあたえる可能性があります。

●野外に駐車した際の過熱に注意する。

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、本製品に覆いをするなどして加熱を防ぐようにしてください。

●本製品を目的外で使用しないでください。

室内用の椅子として使用したり、ショッピングカートに乗せて使用するなど、本製品をチャイルドシート以外の目的で使用しないでください。使用中に思わぬ事故が発生する可能性があるのみならず、チャイルドシートとしての機能に悪影響を与える可能性もあります。

●固定されていない物に注意する。

交通事故や急制動の際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたり、ケガを負うおそれがありますので、自動車内にある移動する物品は適切に固定するようにしてください。

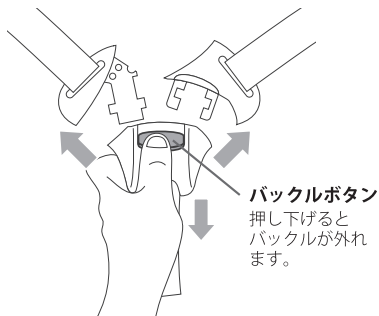
緊急時の操作

交通事故など、緊急時には、あわてず、本製品のバックルボタンを押下げて、乳幼児ベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、乳幼児ベルトや自動車の座席シートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品を固定している自動車の座席シートベルトを外して本体ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用して乳幼児ベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

自動車の座席について

本製品は、お子さまを保護するため、自動車の座席に強くシッカリと取り付けられる必要があり、これにより自動車の座席にへこみや痕、表皮に傷が付く場合があります。本製品を正しくご使用いただいた

結果、自動車の座席にこれらの損傷が生じる可能性があることをあらかじめご了承くださいませ。当社は、この損傷に関しての損害賠償の責を負わないものとさせていただきます。



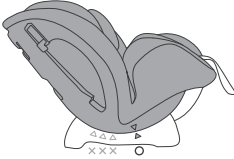
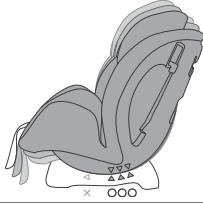
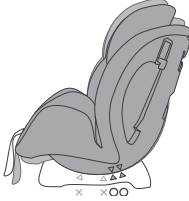
バックルボタン
押し下げると
バックルが外れ
ます。

リクライニングの操作

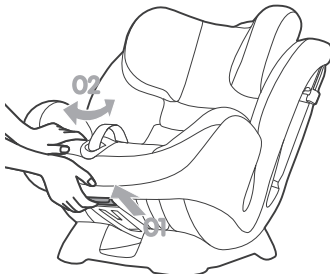
本製品は、前向き取り付け時（チャイルドモード）および前向き設置時（ジュニアモード）では、リクライニングの角度調整ができます。後ろ向き取り付け時（ベビーモード）では、リクライニングの角度

調整はできません。

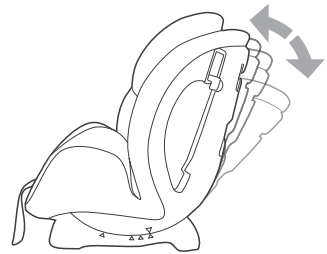
チャイルドモードでは、3段階の調整ができます。ジュニアモードでは、2段階の調整ができます。

モード 取り付けの向き	お子さまの 体重	リクライニング
ベビーモード 後ろ向き取り付け	18kg 以下 <small>ただし、足がはみ出すなど、ベビーモードでは窮屈になった場合はチャイルドモードで使用すること 9kg 以上になるまでは、チャイルドモードで使用しないこと</small>	 シェルの▽の印を、ベースの青い△の位置に合わせます。 ベビーモードでは、リクライニングは、この位置以外には調整できません。
チャイルドモード 前向き取り付け	9kg 以上 18kg 以下	 シェルの▽の印を、ベースの赤い△の位置のいずれかに合わせます。 チャイルドモードでは、リクライニングは、3段階で調整できます。
ジュニアモード 前向きに設置	15kg 以上 25kg 以下	 シェルの▽の印を、左図のように、ベースの赤い△の位置の2か所のどちらかに合わせます。 ジュニアモードでは、リクライニングは、2段階で調整できます。

- 01 リクライニングハンドルを手前方向に握って引きながら、
- 02 シェルの前の部分を持ち、前後に動かすと、リクライニングの角度を調整することができます。



- 03 リクライニングは、4段階で調整できます。



⚠ 危険

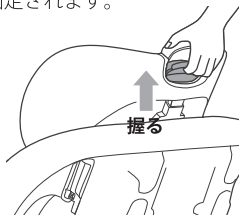
リクライニングの調整が適切でない、大変に危険です。上の表を参照し、お子さまの体格に応じてリクライニングを正しく調整してください。

ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整／バックルの使いかた

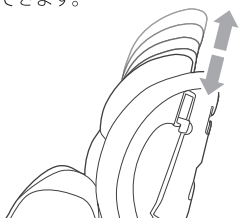
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整

ヘッドレストと肩ベルトは連動しています。ヘッドレストの高さを調整すると、肩ベルトの高さも同時に調整されます。

- 01 ヘッドレストアジャストレバーを握りながら、ヘッドレストを上下にスライドさせます。適当な位置で、握った手を離し軽く上下に動かすと、カチッと音がして、その位置でヘッドレストが固定されます。



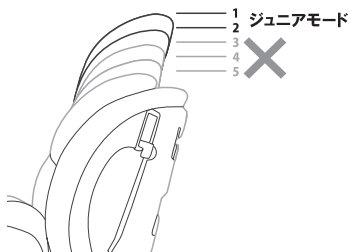
- 02 ヘッドレスト・肩ベルトの高さは5段階で調整することができます。



⚠ 注意

ヘッドレストと本体の間隙で手を挟まないように注意してください。

- 03 ジュニアモードの場合のみ、ヘッドレスト・肩ベルトの高さは上から2段階のみ、設定可能です。



⚠ 注意

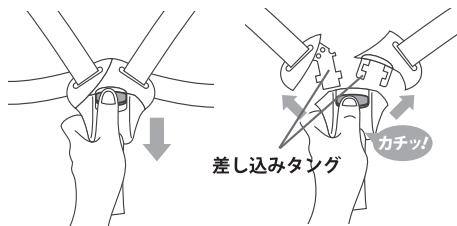
ジュニアモードの場合、無理にヘッドレスト・肩ベルトを上から2段階以上に低くしようとしないでください。

バックルの使いかた

バックルは、ベビーモードおよびチャイルドモードで、乳児用ベルトを使いお子さまを本製品に固定する重要な部品です。

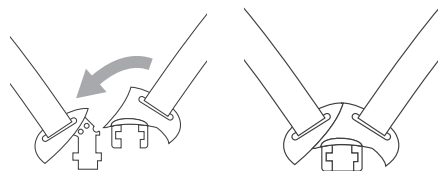
●バックルの外しかた。

- 01 バックルボタンを、図の方向に押し下げると、「カチッ」と音がして、差し込みタンゲが外れます。

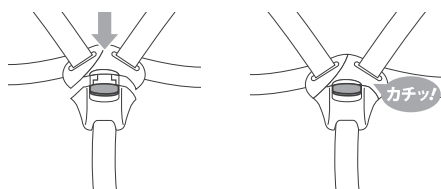


●バックルの留めかた。

- 01 左の差し込みタンゲの上に、右の差し込みタンゲを重ねます。この際に、肩ベルトをねじらないように注意してください。



- 02 そのまま、受けバックルに差し込んでいきます。「カチッ」と音がするまで、差し込みます。



- 03 差し込んだら、軽く肩ベルトを引っ張って、しっかりとバックルが留まっていることを確認してください。

⚠ 警告


しっかりと留まらないなど、バックルに異常が認められる場合には、本製品を使用しないでください。

正常に機能しなくなるおそれがありますので、バックル内部に、油などの潤滑剤をささないでください。

ベビーモードでの使用方法

ベビーモードの使用範囲

体重 18kg 以下 (目安年齢 4 歳頃まで) のお子さまは、ベビーモードで使用します。
 お子さまが体重 9kg 以上になり、足がはみ出すなど、ベビーモードではお子さまが窮屈になった場合には、チャイルドモードでご使用ください。

モード	ベビーモード
お子さまの体重	18kg 以下 9kg 以上はチャイルドモードも使用可
年齢の目安	～4 歳頃
身長の目安	～100cm くらい
リクライニング設定	4 段階 青い▲マーク
お子さまの固定方法	本製品の 乳幼児ベルト
ベルトクリップ	 使用します
ソフトパッド	生後 6 カ月頃まで使用します

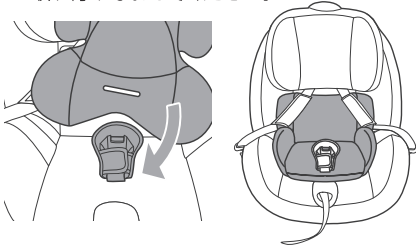
ソフトパッドの使いかた

ポイント！

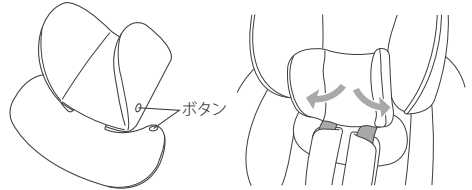
あらかじめ本製品を自動車の座席に取り付けてからソフトパッドを取り付けると、作業がしやすくなります。
 本製品の自動車の座席への取り付けに関しては、P16 の「ベビーモードでの使用方法 - 自動車の座席への取り付けかた」をご参照ください。

ベビーモードでは、生後 6 カ月頃までのお子さまは、ソフトパッドを取り付けて使用します。生後 6 カ月を過ぎると、体格によっては、ソフトパッドを使用すると、お子さまが窮屈になる場合があります。この場合、ソフトパッドを取り外して使用するようにしてください。

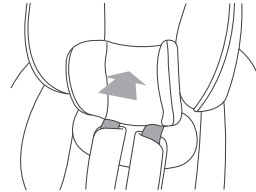
- 01 あらかじめ、バックルを外しておきます。
- 02 股ベルトパッドを外し、ソフトパッドの股ベルト穴に股ベルトを通し、股ベルトパッドを取り付けなおしてください。



- 03 ソフトパッド頭部の左右にあるボタンを外し、肩ベルトの取り出し部分に合わせて取り付けして下さい。



- 04 ソフトパッド頭部を、ヘッドレストに押し込みます。



ポイント！

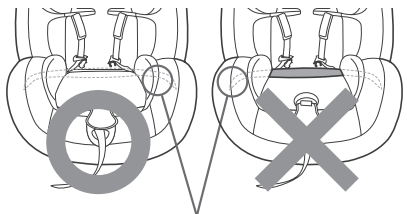
ヘッドレストの高さを調整すると、ソフトパッドが浮くことがあります。この場合、もう一度押し込んでください。

警告

チャイルドモード、ジュニアモードでは、ソフトパッドを使用してはいけません。

警告

本製品を自動車の座席に取り付ける際に、自動車腰ベルトをソフトパッドの上側に通してはいけません。かならず、ソフトパッドの下側を通してください。

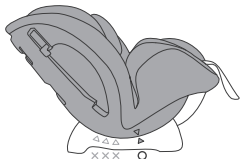


自動車腰ベルトは、かならず、ソフトパッドの下側を通す。

ベビーモードでの使用方法

リクライニングの設定

- 01 P13の「リクライニングの操作」を参照して、ベビーモードに調整します。
ベビーモードでは、青い三角の位置に調整します。

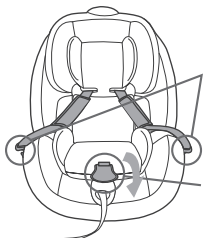


シエルの▽の印を、ベースの青い△の位置に合わせます。ベビーモードでは、リクライニングは、この位置以外には調整できません。

肩ベルトの高さ調整

肩ベルトの高さは、ヘッドレストと連動して調整します。P14の「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整」を参照して、調整してください。

- 01 バックルを下に敷かないように、バックルを外して、図のようにしておきます。



差し込みタンクは外側に出しておきます。

バックルは手前側に倒しておきます。

- 02 お子さまの背筋が伸びた状態で、楽な姿勢にして、本製品に乗せます。この際に、バックルやベルトの上に、お子さまが乗らないように注意してください。



楽な姿勢



浅すぎる

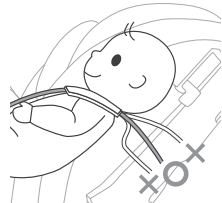


深すぎる

警告

たとえ、乳幼児シートベルトで固定していたとしても、お子さまを乗せたまま、本製品を持ち上げたりしてはいけません。本製品が落下、またはお子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

- 03 お子さまの頭に片手を添えて、ゆっくりと、やさしく、肩ベルトの高さを調整してください。ベビーモードでは、お子さまの肩の位置よりも低い位置で、かつ一番肩に近い高さに肩ベルトの高さを調整してください。



注意

ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、ゆっくりと、やさしく行ってください。

- 04 次に、自動車の座席に本製品を取り付けますので、適切な高さに調整できたら、お子さまを本製品から降ろしてください。

自動車の座席への取り付けかた

警告

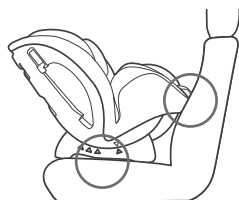
お子さまを乗せたまま、自動車の座席への取り付けを行ってはいけません。

ポイント！

ベビーモードでは、自動車の座席に取り付ける前に、以下のポイントを確認します。

- ・ソフトパッド(6カ月頃まで使用)
※ソフトパッドは、本製品を座席に取り付けた後のほうが、取り付けしやすくなります。
- ・リクライニングの設定(青い△の位置)
- ・ヘッドレスト・肩ベルトの高さの調整

- 01 本製品を取り付ける自動車の座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。本製品の底面が自動車の座席の座面に接するように、シエルの前端が背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



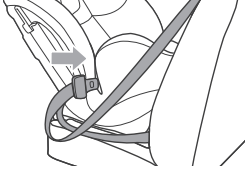
- 02 ソフトパッドは、あらかじめ取り外しておきます。バックルを外し、受けバックルを手前側に倒しておきます。

ベビーモードでの使用方法

ポイント！

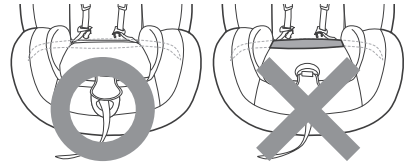
以下は、向かって左側に自動車ベルトバックル、右側に自動車肩ベルトの取り出し口がある場合の説明です。

- 03 自動車腰ベルトを、ねじらないように注意して、左右のベルトスロットに通します。

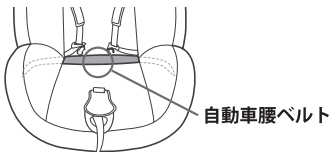


警告

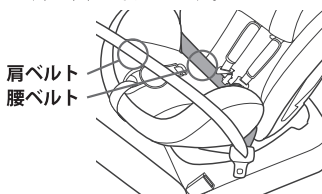
ソフトパッドを取り付けたまま、本製品を自動車の座席に取り付ける場合、かならず、自動車腰ベルトはソフトパッドの下側を通してください。



- 04 差込タンク、受けバックルを自動車腰ベルトで敷かないようにしてください。



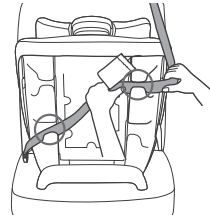
- 05 自動車肩ベルトは、ベルトスロットを通さずに、外に出しておきます。



- 06 自動車シートベルトにねじれがないことを確認して、自動車のシートベルトのバックルを留めます。



- 07 自動車肩ベルトを、ねじらないように注意して、本体の背面にある、対角線上のショルダーベルトスロットに通します。



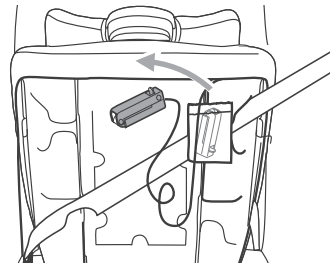
警告

自動車のシートベルトにねじれが出ないようにしてください。自動車のシートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

注意

ベルトクリップの入った袋を自動車シートベルトとシェル(本体)の間に挟まないようにしてください。

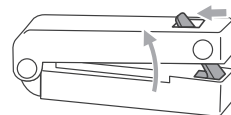
- 08 ベルトクリップの入った袋から、ベルトクリップを取り出します。



危険

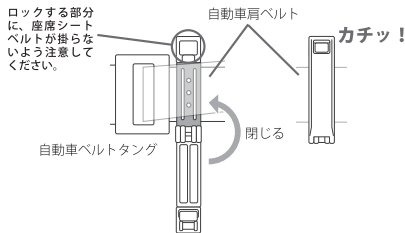
ベルトクリップは、ベビーモード時のみに使用しますが、他のモードで使用する場合にも、ベルトクリップおよびベルトクリップの入った袋を絶対に本体から取り外してはいけません。

- 09 ベルトクリップを開いておきます。レバーを押し込みながら開くと、クリップは開きます。



ベビーモードでの使用方法

- 10 ベルトクリップは、自動車ベルトタングに可能な限り近い位置で、自動車肩ベルトにのみ取り付け使用します。

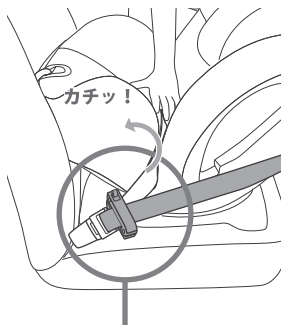


実際の取り付けは、11以降の手順を参照してください。

- 11 本製品の座面部分を強く押し付けながら、自動車肩ベルトを強く引いて、本製品を締めつけます。



- 12 その状態のまま、自動車ベルトタングに近い位置で、ベルトクリップで自動車肩ベルトを挟むようにして、閉じます。



肩ベルトのみ挟みます。
腰ベルトは挟まないでください。

ポイント！

ベルトクリップは、しっかりと自動車ベルトで本製品を締め付け、取り付けた後、自動車肩ベルトを緩みにくくするためのものです。

警告

ベルトクリップは、自動車肩ベルトのみに取り付けます。自動車腰ベルトに取り付けたり、これらを束ねて取り付けたりしないでください。

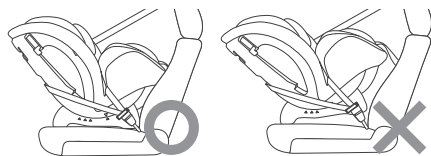
ベビーモード以外のモードでご使用になる場合や、本製品を自動車から取り外して、保管しておく場合には、必ずベルトクリップはベルトクリップの袋の中に入れておくようにしてください。
袋の中に入っていないと、交通事故や急制動の際にクリップがお子さまや他の乗員にあたりたり、引っかかったりして、ケガをするおそれがあります。

固定が完全に完了する前に、座席シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上強く本製品を固定することができません。途中で、固定機能が働いてしまった場合には、P8の「座席シートベルトの種類の確認」の記載および車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除して作業を続けてください。

注意

本製品の座面を強く押す際にバックル等でケガをしないように注意してください。

- 13 本製品の底面と先端が、それぞれ、自動車の座席の座面と背もたれに接しているかどうか確認してください。先端が浮いてしまっている場合、自動車のシートベルトを緩めてもう一度やり直してください。



警告

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなりますので、先端が浮いたままの状態で使用しないでください。

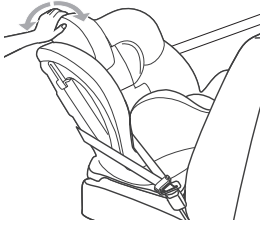
- 15 生後6カ月頃までのお子さまの場合には、ソフトパッドを取り付けます。

ポイント！

ソフトパッドの取り扱いに関しては、P15をご参照ください。

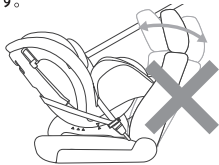
ベビーモードでの使用方法

- 16 ヘッドレストを持って、前後左右に動かして、しっかりと固定ができていないか確認します。(目安としてベースが3cm以上動かないこと。) 取り付けがゆるく、しっかりと固定されていない場合、もう一度取り付けなおしてください。



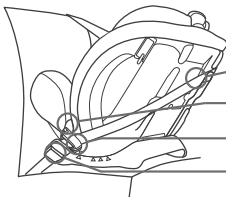
警告

本製品の取り付け後、自動車の座席背もたれのリクライニングを操作してはいけません。本製品の取り付けがゆるみ、所定の安全性能を発揮できなくなります。

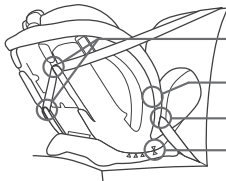


取り付けの確認

- 01 下図を参考にして、本製品の取り付け状態を確認してください。一つでも違う部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



- 自動車肩ベルト、腰ベルトにねじれないこと。
- 自動車腰ベルトがベルトスロットを通っていること。
- ベルトクリップが正しく取り付けられていること。
- 自動車のシートベルトのバックルがしっかりと留まっていること。



- 自動車肩ベルトが対角線上のショルダーベルトスロットを通っていること。
- 自動車腰ベルトがソフトパッドの下側を通っていること。
- 自動車腰ベルトがベルトスロットを通っていること。
- 本製品のリクライニングがベビーモードに適した角度で調整されていること。

危険

本製品の取り付けがゆるいと、事故や急制動の際に、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

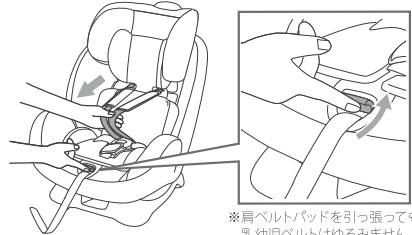
ベビーモードでのお子さまの乗せかた

ポイント！

ベビーモードでご使用いただく際の確認事項

- ・ソフトパッドが正しく取り付けられていること(生後6カ月頃まで)
- ・肩ベルトの高さが適切に調整されていること
- ・リクライニングの角度がベビーモードに設定されていること
- ・特に、月齢の低いお子さまの長時間の使用は避けてください(連続使用の上限は、1時間程度を目安としてください。)

- 01 乳幼児ベルトのバックルを留めてから、片方の手で左右の肩ベルトを束ねて持ち、別の手でベルトアジャスターを押し込みながら肩ベルトを引っ張り、乳幼児ベルトをゆるめます。



※肩ベルトパッドを引っ張っても乳幼児ベルトはゆるみません。

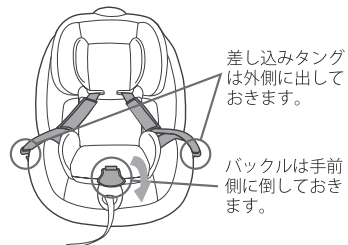
注意

肩ベルトの左右を同じ長さにするため、肩ベルトは左右束ねて持つようにしてください。

ポイント！

実際にお子さまを本製品に乗せる際に、乳幼児ベルトを、きつく締めすぎた場合には、こちらを参照して、乳幼児ベルトをゆるめて、調整してください。

- 02 バックルを外して、受けバックルと差込タングを、お子さまを座らせる際に邪魔にならないようにしておきます。



差込みタングは外側に出しておきます。

バックルは手前側に倒しておきます。

ベビーモードでの使用方法

- 03 お子さまの背筋が伸びた状態で、楽な姿勢にして、本製品に乗せます。この際に、バックルやベルトの上に、お子さまが乗らないように注意してください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

- 04 お子さまの両足を股ベルトの間に入れて、両腕を肩ベルトの間を通し、乳幼児ベルトにねじれがないことを確認して、バックルを留めます。



ポイント!

バックルを留めるには、左右の差込タンクを合わせてから、受けバックルに差し入れます。詳しくは、P14の「バックルの使いかた」を参照してください。

⚠ 危険

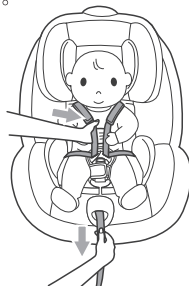
バックルが正常に機能しなくなり、大変危険ですので、受けバックルに異物が入らないように注意してください。

⚠ 警告

バックルが正しく留まっていることを確認してください。

乳幼児ベルトにねじれがないようにしてください。

- 05 肩ベルトとお子さまの間に、片手の掌を差し込んで、別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



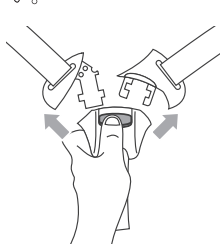
⚠ 警告

乳幼児ベルトが強く締めすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。強く乳幼児ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、事故や急制動の際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

- 06 最後に、もう一度、バックルが正しく留まっているか、乳幼児ベルトにゆるみやねじれがないか、確認してください。

ベビーモードでのお子さまの降ろしかた

- 01 バックルを外し、お子さまの腕を肩ベルトから抜いて、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。



⚠ 警告

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが乳幼児ベルトに引っかかっていた場合など、思わぬ事故につながるおそれがあります。乳幼児ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

チャイルドモードでの使用方法

チャイルドモードでの使用方法

ポイント！

チャイルドモードでは、ベビーモードと異なり、自動車の進行方向に対して、前向きに取り付けします。本製品を、ベビーモードでお使いいただいている場合、最初に、本製品を、自動車座席から取り外してください。

チャイルドモードの使用範囲

体重 9kg 以上、18kg 以下（目安年齢 1 歳頃から 4 歳頃まで）のお子さまは、チャイルドモードで使用します。

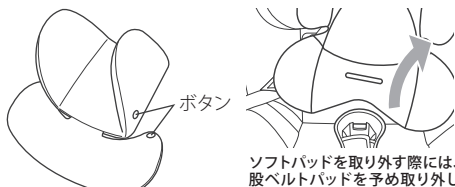
体重 18kg 以下の場合、ベビーモードでもご使用いただけます。

また、体重 15kg 以上のお子さまは、ジュニアモードでもご使用いただけます。

モード	チャイルドモード
お子さまの体重	9kg 以上 18kg 以下 18kg 以下はベビーモードでも使用可 15kg 以上はジュニアモードでも使用可
年齢の目安	1 歳頃～ 4 歳頃
身長目安	80cm くらい～ 100cm くらい
リクライニング設定	1～3 段階 赤い▲マーク全て
お子さまの固定方法	本製品の乳幼児ベルト
ベルトクリップ	 使用してはいけません
ソフトパッド	使用してはいけません

ソフトパッドの取り外し

- 01 ソフトパッドが取り付けられている場合、取り外します。



ソフトパッドの頭部はボタンを外してから取り外して下さい。

ソフトパッドを取り外す際には、股ベルトパッドを予め取り外しておきます。ソフトパッドを取り外した後、股ベルトパッドを取り付けなおしてください。

警告

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、チャイルドモードでは、ソフトパッドを取り外してください。

リクライニングの設定

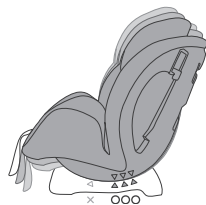
- 01 チャイルドモードで取り付ける際には、P13の「リクライニングの操作」を参照して、下図の赤い△の位置に合わせます。



取り付け時のリクライニングの位置

本製品を取り付けた後、実際にご使用いただく場合、チャイルドモードでは赤い△の3つの位置にリクライニングを調整できます。

お子さまの様子に応じて、快適な状態に調整してご使用ください。



シェルの▽の印を、ベースの赤い△の位置のいずれかに合わせます。チャイルドモードでは、すべての赤い△の位置でご使用いただけます。

実際にご使用いただく時のリクライニングの位置

ポイント！

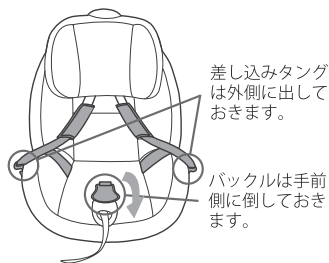
取り付け後、本製品のリクライニングが固くて調節できない場合は、座席シートベルトを緩めてからリクライニングを調節してください。この場合、再度、座席シートベルトを強く締め付け、本製品の取り付けを確実にこなしてください。

また、座席シートベルトが緩んでしまった場合には、必ず、締め直してください。

肩ベルトの高さ調整

肩ベルトの高さは、ヘッドレストと連動して調整します。P14の「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整」を参照して、調整してください。

- 01 バックルを下に敷かないように、バックルを外して、図のようにしておきます。



差し込みタンクは外側に出しておきます。

バックルは手前側に倒しておきます。

チャイルドモードでの使用方法

- 02 お子さまの背筋が伸びた状態で、楽な姿勢にして、本製品に乗せます。この際に、バックルやベルトの上に、お子さまが乗らないように注意してください。



シートに深く、すわるようにして、お子さまに乗せます。

警告

たとえ、乳幼児シートベルトで固定していたとしても、お子さまを乗せたまま、本製品を持ち上げたりしてはいけません。本製品が落下、またはお子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

- 03 チャイルドモードでは、肩ベルトの高さは、ベビーモードと異なり、お子さまの肩の上側で、お子さまの肩の位置に一番近い状態に調整します。



警告

肩ベルトの高さは、お子さまの成長に応じて、常に適切に調整するようにしてください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や急制動の際にお子さまを正しく保護することができないおそれがあります。

自動車の座席への取り付けかた

警告

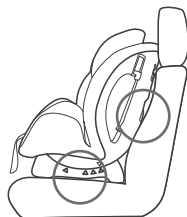
お子さまを乗せたまま、自動車の座席への取り付けを行ってはいけません。

ポイント！

チャイルドモードでは、自動車の座席に取り付ける前に、以下のポイントを確認します。

- ・リクライニングの設定（赤い△の位置→取り付け時はリクライニングを最も立てた状態にします）
- ・ヘッドレスト・肩ベルトの高さの調整
- ・ソフトパッドを取り外す

- 01 本製品を取り付ける自動車の座席に、本製品を前向きにして置きます。本製品の底面と背面が、それぞれ、自動車の座席の座面と背もたれに接するようにしてください。



ポイント！

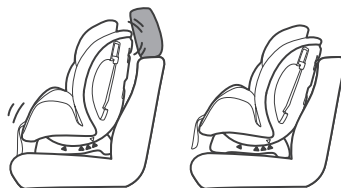
自動車の座席背もたれの角度によっては、本製品の背面が自動車の座席の背もたれと接しない場合があります。この場合、自動車の座席背もたれの角度が調整可能であれば、お使いの自動車の取扱説明書を参照し、自動車の座席の背もたれが、本製品の背面に大きく接するように、角度を調整するようにしてください。

警告

取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を自動車座席に取り付けた後で、自動車の座席背もたれのリクライニング角度を変更してはいけません。

ポイント！

取り付けの際に、自動車の座席のヘッドレストが本製品に干渉する場合、自動車の座席のヘッドレストを取り外して本製品を取り付けてください。

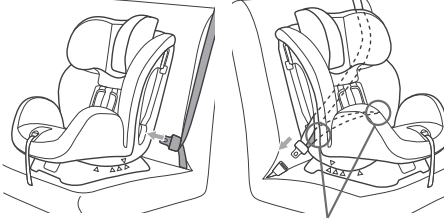


警告

自動車の座席のヘッドレストを取り外した場合、ヘッドレストは、安全な場所に固定、保管しておいてください。事故や急制動の際に、お子さまや他の乗員にぶつかり、思わぬ事故につながるおそれがありますので、固定していない状態で車内に放置しないでください。

チャイルドモードでの使用方法

- 02 ねじれが出ないように注意しながら、自動車の座席シートベルトを、バックスロットに入れ、反対側のバックスロットまで通します。自動車腰ベルトがバックスロットに通った状態になります。

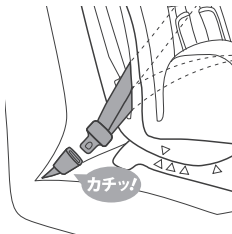


自動車腰ベルトが左右のバックスロットを通過している

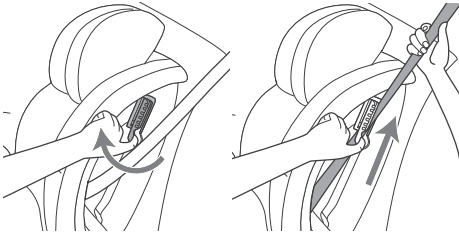
ポイント！

座席シートベルトが通しにくい場合、反対側のバックスロットに手を差し入れて、座席シートベルトを引き出すようにしてください。

- 03 座席シートベルトにねじれがなければ、そのまま自動車タングを自動車バックルに「カチッ」と音がするよう、シッカリと留めます。



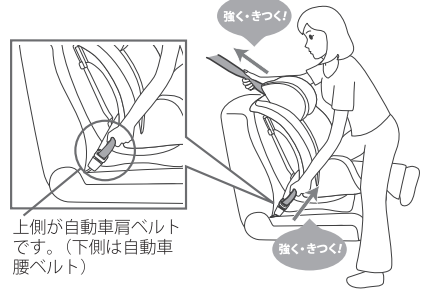
- 04 自動車肩ベルトの取り出し口側のロックオフデバイスを開けて、自動車肩ベルトを、ねじらないように注意しながら、上方向に差し入れて通します。



警告

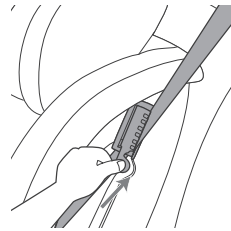
自動車の座席シートベルトにねじれが出ないようにしてください。座席シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

- 05 本製品の座面に片膝を乗せるなどして、本製品に体重を掛けながら、自動車肩ベルトを強く、きつく締めあげてください。



上側が自動車肩ベルトです。(下側は自動車腰ベルト)

- 06 ロックオフデバイスが確実に閉じられていることを確認してください。



ポイント！

大人2名で、作業を分担すると(本製品を押さえる役割、自動車肩ベルトを引く役割)、より迅速に、かつシッカリと固定することができます。

警告

固定が完全に完了する前に、座席シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上強く本製品を固定することができません。途中で、固定機能が働いてしまった場合には、P7の「座席シートベルトの種類の確認」の記載および車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除して作業を続けてください。

注意

本製品の座面に体重を掛ける際にバックル等でケガをしないように注意してください。

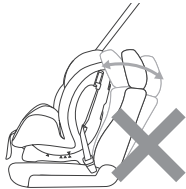
チャイルドモードでの使用方法

- 07 ヘッドレストを持って、前後左右に動かして、しっかりと固定ができていないか確認します。(目安としてベースが3cm以上動かないこと。) 取り付けがゆるく、しっかりと固定されていない場合、もう一度取り付けなおしてください。



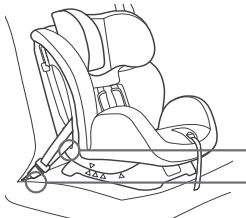
警告

本製品の取り付け後、自動車の座席背もたれのリクライニングを操作してはいけません。本製品の取り付けがゆるみ、所定の安全性能を発揮できなくなります。



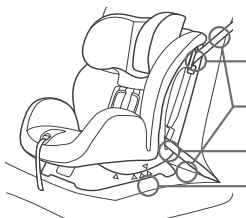
取り付けの確認

- 01 下図を参考にして、本製品の取り付け状態を確認してください。一つでも違う部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



自動車腰ベルトがバックスロットを通っていること。

自動車のシートベルトのバックルがしっかりと留まっていること。



自動車肩ベルトがロックオフデバイスを通っており、かつ、ロックオフデバイスが閉じられていること。

自動車のシートベルトにねじれがないこと。

自動車腰ベルトがバックスロットを通っていること。
本製品のリクライニングがチャイルドモードに適した角度で調整されていること。

危険

本製品の取り付けがゆるいと、事故や急制動の際に、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

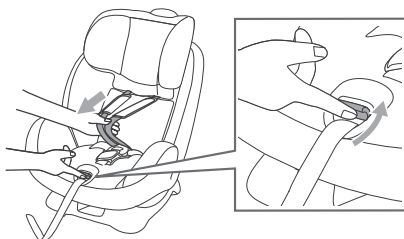
チャイルドモードでのお子さまの乗せかた

ポイント!

チャイルドモードでご使用いただく際の確認事項

- ・肩ベルトの高さが適切に調整されていること
- ・リクライニングの角度がチャイルドモードで使用可能な範囲に設定されていること
- ・長時間の連続使用は避けてください。

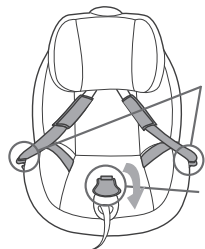
- 01 乳幼児ベルトのバックルを留めてから、片方の手で、左右の肩ベルトを束ねて持ち、別の手でベルトアジャスターを押し込みながら、肩ベルトを引っ張り、乳幼児ベルトをゆるめます。



注意

肩ベルトの左右を同じ長さにするため、肩ベルトは左右束ねて持つようにしてください。

- 02 バックルを外して、受けバックルと差込タンクを、お子さまを座らせる際に邪魔にならないようにしておきます。



差し込みタンクは外側に出しておきます。

バックルは手前側に倒しておきます。

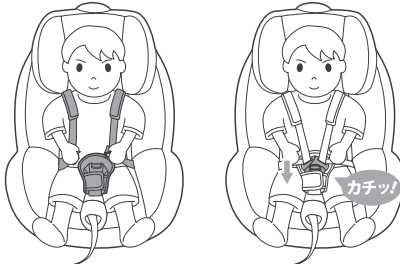
- 03 お子さまの背筋が伸びた状態で、楽な姿勢にして、本製品に乗せませす。この際に、バックルやベルトの上に、お子さまが乗らないように注意してください。



シートに深く、すわるようにして、お子さまを乗せませす。

チャイルドモードでの使用方法

- 04 お子さまの両足を股ベルトの間に入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、乳幼児ベルトにねじれないことを確認して、バックルを留めます。



ポイント！

バックルを留めるには、左右の差込タンクを合わせてから、受けバックルに差し入れます。詳しくは、P14の「バックルの使いかた」を参照してください。

危険

バックルが正常に機能しなくなり、大変危険ですので、受けバックルに異物が入らないように注意してください。

警告

バックルが正しく留まっていることを確認してください。
乳幼児ベルトにねじれがないようにしてください。

- 05 肩ベルトパッドとお子さまの胸部の間に、片手の指を2本差し込んで、別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ指が肩ベルトとお子さまの身体の間挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。大人の指が2本程度差し入れられる程度の締めつけが、最適な状態です。



警告

乳幼児ベルトが強く締めすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。強く乳幼児ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、事故や急制動の際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の指が2本程度差し入れられる程度に締めつけるようにしてください。

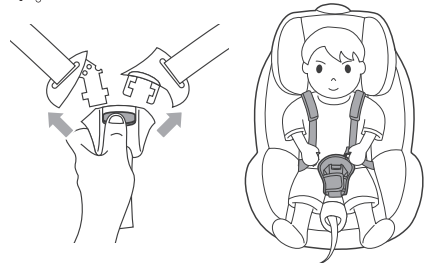
- 06 最後に、もう一度、バックルが正しく留まっているか、乳幼児ベルトにゆるみやねじれがないか、確認してください。

警告

お子さまには、普段から、ベルトバックルに触らないよう言い聞かせるようにしてください。本製品を使用中に、お子さまがベルトバックルに触り、バックルが外れてしまうと、事故や急制動の際に本製品が安全に機能せず、大変に危険です。本製品の使用中は適宜、運転の安全を確認、確保した上で本製品の状態を確認するようにしてください。

チャイルドモードでのお子さまの降ろしかた

- 01 バックルを外し、お子さまの腕を肩ベルトから抜いて、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。



警告

勢いよくお子さまが降りると、万一、お子さまが乳幼児ベルトに引っかかっていた場合など、思わぬ事故につながるおそれがあります。乳幼児ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろす（または降りるように言い聞かせる）ようにしてください。

ジュニアモードでの使用方法

ジュニアモードでの使用方法

ポイント！

ジュニアモードでは、乳幼児ベルトではなく、自動車シートベルトによって、お子さまを固定します。自動車の進行方向に対して、前向きで使用します。

本製品を、ベビーモードまたはチャイルドモードでお使いいただいている場合、最初に、本製品を、自動車座席から取り外してください。

警告

ジュニアモードでは、ソフトパッドを使用することはできません。P21の「チャイルドモードでの使用方法-ソフトパッドの取り外し」を参照して、あらかじめ、ソフトパッドを取り外しておいてください。

ジュニアモードの使用範囲

体重 15kg 以上、25kg 以下（目安年齢 3 歳頃から 7 歳頃まで）のお子さまは、ジュニアモードで使用します。

ただし、体重 18 kg 以下のお子さまは、チャイルドモード、または体格が合えばベビーモードでも使用可能です。

モード	ジュニアモード
お子さまの体重	15kg 以上 25kg 以下 18kg 以下はチャイルドモードも使用可 18kg 以下はベビーモードでも使用可
年齢の目安	3 歳頃～7 歳頃
身長の目安	100cm くらい～120cm くらい
リクライニング設定	1～2 段目 赤い▲マークの 2 段
お子さまの固定方法	自動車のシートベルト
ベルトクリップ	 使用してはいけません
ソフトパッド	使用してはいけません

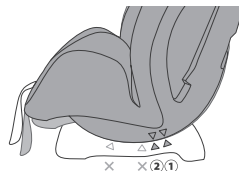
リクライニングの設定

- 01 P13の「リクライニングの操作」を参照して、ジュニアモードの最もリクライニングが立った状態に調整します。下図の位置になります。



ポイント！

本製品を取り付けた後、実際にご使用いただく場合、ジュニアモードでは下図の、赤い三角の①②いずれかの位置にリクライニングを調整できます。お子さまの様子に応じて、快適な状態に調整してご使用ください。



警告

リクライニングの調整は、上図の①または②の位置で行います。その他の位置は、ジュニアモードでは使用できません。

ジュニアモードの準備

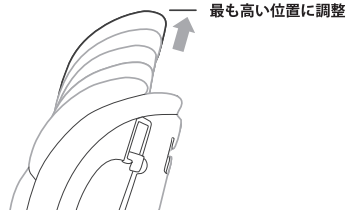
ジュニアモードでは、本製品の乳幼児シートベルトではなく、自動車のシートベルトによってお子さまを固定します。自動車のシートベルトは、お子さまの固定に使用し、本製品を自動車の座席に取り付けるためには使用しません。

- 01 ジュニアモードで使用するため、乳幼児シートベルトを本製品内部に収納します。

警告

乳幼児ベルトを収納せずに、ジュニアモードで使用してはいけません。

- 02 P14の「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整」を参照して、ヘッドレストを最も高い位置に調整します。

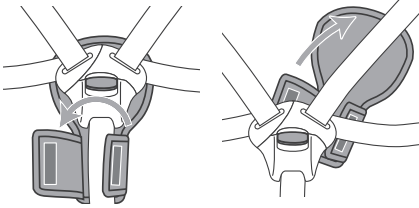


注意

ヘッドレストが低い位置にあると、これ以降の作業ができません。

ジュニアモードでの使用方法

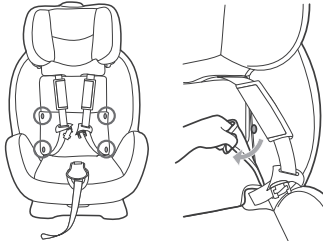
- 03 バックルカバーを取り外します。



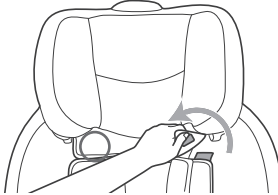
⚠ 注意

外したバックルカバーは、無くさないよう、お子さまの手の届かない所に保管してください。

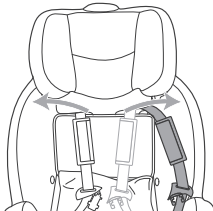
- 04 バックルが留まっている場合は、外します。
05 背もたれの部分にある4か所のホックを外します。



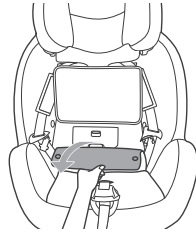
- 06 肩ベルトを留めているヘッドレスト下部の左右の面ファスナーを外し、



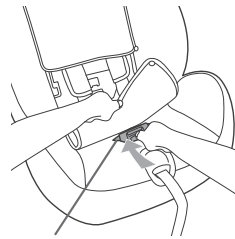
- 07 左右の肩ベルトを、それぞれ外側にずらして面ファスナーの間から、抜きます。



- 08 05でホックをはずした、背もたれ部分を前方向に倒しておきます。



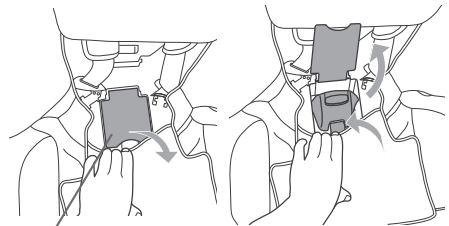
- 09 受けバックルを、座面のカバーの切り込み（通し穴）に押し込んで、反対側に抜き出します。



座面のカバーの切り込み部分に、受けバックルを押し込んで反対側に抜き出します。

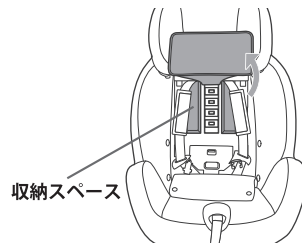
切り込み（通し穴）

- 10 シェルの座面部分のカバーをめくると、差し込みタングの収納スペースが現われます。この蓋をあけて、差し込みタングを収納スペースに入れ、蓋を閉めます。



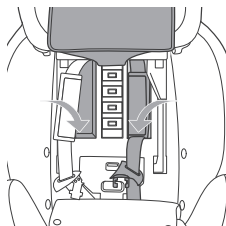
収納スペース

- 11 ヘッドレストの下部を、上方向にまくりあげると、肩ベルトパッド収納スペースが現われます。



ジュニアモードでの使用方法

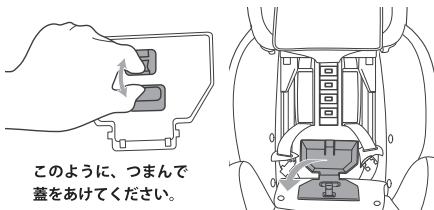
- 12 左右の肩ベルトパッドを、収納スペースに押し込みます。下方向に押し込むようにすると、収納しやすくなります。



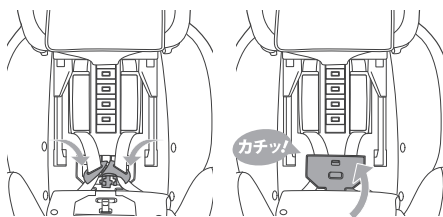
⚠ 注意

ヘッドレストは、あらかじめ、最も高い位置に調整しておいてください。最も高い位置か、その次に高い位置以外では、肩ベルトパッドを正しく収納することができません。

- 13 差込タングの収納スペースの蓋をあけます。



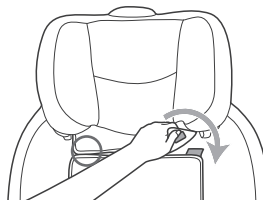
- 14 収納スペースに差込タングを入れて、蓋を閉じます。



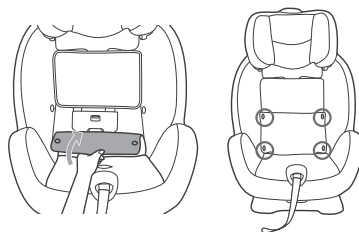
📄 ポイント！

肩ベルトパッド、差込タングが収納スペースに入りにくい場合には、アジャスターベルト、ベルトアジャスターを使用して、乳幼児シートベルトの長さを調整してください。

- 15 ヘッドレスト下部の左右の面ファスナーを留め付けます。

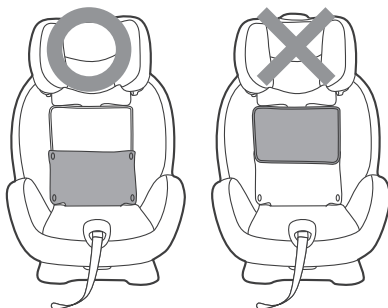


- 16 ヘッドレスト下部に被せるようにして、背もたれ部分の4か所のホックを留め付けます。



⚠ 注意

ヘッドレストのカバーが、背もたれのカバーの上側にこないようにしてください。



ジュニアモードではヘッドレストは、上から2段階以外に調整することはできません。部品が破損するおそれがありますので、無理にヘッドレストをさらに下の段階に押し込もうとしないでください。

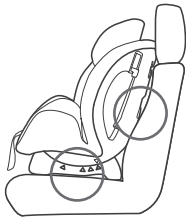
ジュニアモードでの使用方法

ジュニアモードでの使用

警告

ジュニアモードの場合でも、必ず自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定するようにしてください。2点式や5点式のシートベルトなど、本製品での使用を禁止しているシートベルトでのお子さまの固定は危険です。

- 01 本製品を取り付ける自動車の座席に、本製品を前向きにして置きます。本製品の底面と背面が、それぞれ、自動車の座席の座面と背もたれに接するようにしてください。

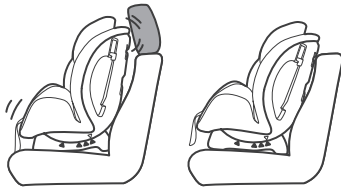


警告

本製品が安定しなくなりますので、本製品を自動車座席に取り付けた後で、自動車の座席背もたれの角度を変更してはいけません。

ポイント！

本製品を設置した際に、自動車の座席のヘッドレストが本製品に干渉する場合、自動車の座席のヘッドレストを取り外してください。



警告

自動車の座席のヘッドレストを取り外した場合、ヘッドレストは、安全な場所に固定、保管しておいてください。事故や急制動の際に、お子さまや他の乗員にぶつかり、思わぬ事故につながるおそれがありますので、固定していない状態で車内に放置しないでください。

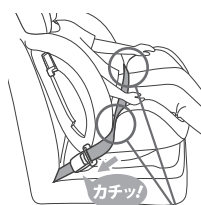
ジュニアモードでのお子さまの乗せかた

- 01 お子さまのおしりが一番低い部分に接するようにして、背筋を伸ばして、楽な姿勢で本製品の中央に座らせます。



シートに深く、すわるようにして、お子さまを乗せます。

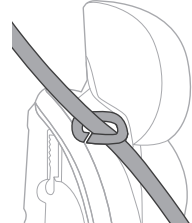
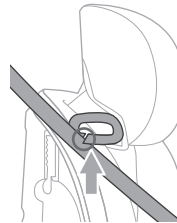
- 02 腰ベルトが左右のベルトスロットを通るようにして、通常使用するように、自動車のシートベルトを留めます。



ベルトスロット



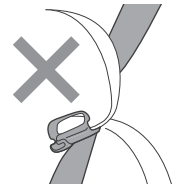
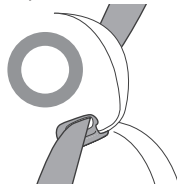
- 03 肩ベルトを、肩ベルトガイドに通します。



肩ベルトガイドの切り口に肩ベルトを差し入れて通します。

警告

肩ベルトは、かならず、肩ベルトガイドの中を通してください。



ジュニアモードでの使用方法／お手入れのしかた

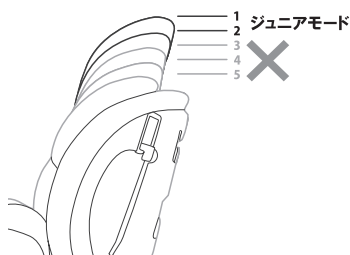
⚠ 警告

自動車のシートベルトにねじれが出ないようにしてください。自動車のシートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

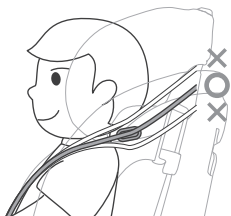
肩ベルトの高さ調整

肩ベルトの高さは、ヘッドレストと連動して調整します。P14の「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整」を参照して、調整してください。

01 ジュニアモードでは、肩ベルトの高さは上から2段階のみ、設定可能です。



02 肩ベルトの高さを、お子さまの肩の上側で、お子さまの肩の位置に一番近い状態に調整します。



⚠ 注意

ジュニアモードではヘッドレストは、上から2段階以外に調整することはできません。部品が破損するおそれがありますので、無理にヘッドレストをさらに下の段階に押し込もうとしないでください。

⚠ 警告

お子さまの首に、肩ベルトがかかっていることを確認してください。

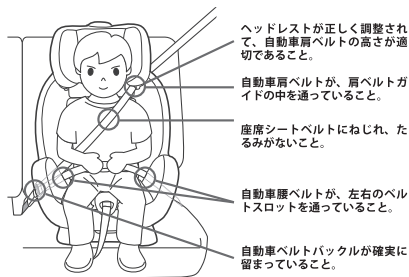
お子さまには、普段から、自動車ベルトバックルに触らないように言い聞かせるようにしてください。本製品を使用中に、お子さまが自動車ベルトバックルに触り、バックルが外れてしまうと、事故や急制動の際に本製品が安全に機能せず、大変に危険です。本製品の使用中は適宜、運転の安全を確認、確保した上で本製品の状態を確認するようにしてください。

⚠ 危険

お子さまが成長し、肩ベルトの高さを一番高い位置に調整しても、お子さまの肩の高さが、本製品の肩ベルトガイドの位置よりも高くなった場合には、体重が適応範囲内でも、本製品の使用を中止してください。



使用前の確認



お手入れのしかた

ここでは、本製品のお手入れのしかたを説明いたします。お使いいただいているモードにより作業内容が若干異なる部分がありますので、下記マークを参照し、お使いいただいているモードに応じて作業を進めてください。



ベビーモードでご使用いただいている場合に参照してください。



チャイルドモードでご使用いただいている場合に参照してください。



ジュニアモードでご使用いただいている場合に参照してください。

特に、マークの記載がない場合は、全てのモードで共通の作業です。

お手入れの準備

01 本製品を自動車から取り外し、車外に出してください。

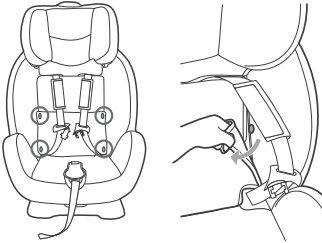
カバー類の取り外し



ソフトパッドを取り外します。
取り外しかたは、P21の「チャイルドモードでの使用方法-ソフトパッドの取り外し」を参照してください。

02 ヘッドレストを、一番高い位置に調整します。
調整のしかたは、P14「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調整」を参照してください。

03 背もたれの部分にある4か所のホックを外します。



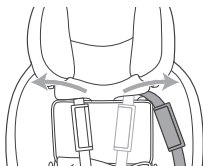
ポイント！

ジュニアモードの場合には、乳幼児ベルトは、収納された状態になっています。

04 ヘッドレスト下部の左右の面ファスナーを外します。



バックルが留まっている場合は、バックルを外し、左右の肩ベルトを、それぞれ外側にずらして面ファスナーの間から、抜きます。



05 中の衝撃吸収材を傷つけないように注意しながら、カバーを留めつけているゴムバンドをフックから取り外します。
ゴムバンドは、ヘッドレストの左右についていますので、左右とも取り外してください。



ポイント！

指を入れた際にケガをしないよう、注意してください。

中の衝撃吸収材を傷つけないよう、注意してください。

06 ヘッドレストの上側から、前方向にめくるようにして、ゆっくりとカバーを取り外します。

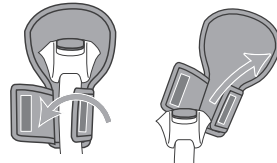


注意

ヘッドレストのカバーは、ゆっくりと取り外すようにしてください。勢よく取り外すと、カバーや衝撃吸収材が破損するおそれがあります。



バックルカバーを取り外します。



お手入れのしかた

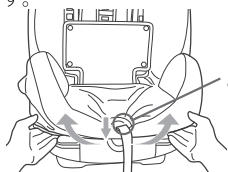
⚠注意

外したバックルカバーは、無くさないよう、お子さまの手の届かない所に保管してください。

- 07 シェル左右で、カバーを留め付けているホックを外します。



- 08 本体のカバーを、シェル前端からめくるようにして、取り外します。アジャスターベルトは、カバーの穴から抜き取ります。



アジャスターベルトを、カバーの穴から抜いてください。

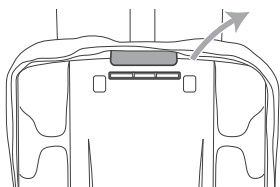
📖ポイント!

カバーを取り付ける際には、アジャスターベルトを、カバーの穴に通し、ベルトアジャスターのカバーの外周の溝に、カバーの端を、押し込んでください。



アジャスターベルト

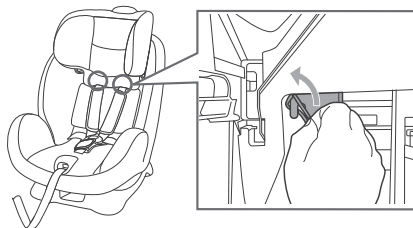
- 09 シェル背面の上部に差し込まれている、カバーのプラスチックのプレートを引き抜きます。



⚠危険

ベルトクリップおよびベルトクリップの入った袋を取り外してはいけません。

- 10 本体背面の肩ベルトの取り出し口の上（ヘッドレスト下部あたり）の左右のフック部分に留め付けてあるゴムのループを左右とも取り外します。



⚠注意

ヘッドレストを一番高い位置に調整しないと、ゴムのループを留めているフックは隠れて見えません。

カバーを取り付ける際に、ゴムのループを左右とも取り付けることを忘れないでください。

ヘッドレストの衝撃吸収材を傷つけないよう、注意してください。

指などをケガしないよう、注意して作業してください。お手入れの後、ゴムのループを取り付ける際には、特に注意してください。

- 11 そのままカバーをゆっくりと取り外してください。前上方向に脱がせるようにすると、取り外しやすくなります。

- 12 カバー類の取り付けは、逆の手順で行ってください。取り付けが終わったら次の各点を確認してください。ヘッドレストの高さ、リクライニングの角度は、モードに合わせて調整してください。



・肩ベルト取り出し口の上で、本体のシートカバーのゴムのループが留め付けられていること。

・衝撃吸収材が、正しく本体シェルに取り付けられていること。

・取り外したホック、面ファスナー、ゴムバンド類が元通りに留め付けられていること。



・乳幼児シートベルトにねじれがないこと。

・バックルカバーが取り付けられていること。



・ソフトパッドが必要な場合、ソフトパッドが正しく取り付けられていること。

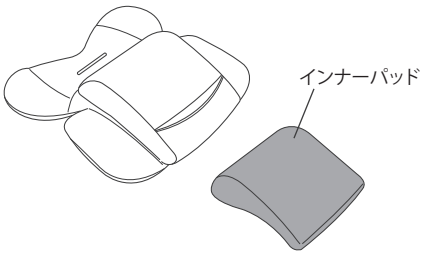


・肩ベルトおよび股ベルト、バックルが、正しく収納されていること。

ソフトパッドのお手入れ

ソフトパッドのカバーは、お手入れすることができます。お手入れする際には、おしりの部分のインナーパッドを取り外します。インナーパッドは洗濯できませんので、お湯を良く絞った布で汚れをふき取るようにしてください。

- 01 ソフトパッド背面のポケットからインナーパッドを抜き取ります。
インナーパッドには、向きがあります。インナーパッドを戻す際には、向きに注意してください。



警告

インナーパッドは、かならず、正しい向きで使用してください。向きが異なっていると、本製品が所定の安全性を発揮できなくなるおそれがあります。

汚れの落とししかた

カバー類およびパッド類の縫製品は、次のように汚れを落としてください。

- 30℃以下の水で手洗いしてください
- アイロンはかけられません
- 漂白、ドライクリーニングはできません
- 洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を使用するようにしてください。ガンリンや有機溶剤は絶対に使わないでください
- 日陰に吊るして干して乾燥させてください
- 変形の原因になりますのできつく絞らないでください

警告

お手入れのため取り外したシートカバーやパッド類などの部品は、本取扱説明書の記載に従い、正しく取り付け直してください。

注意

シートカバーおよびパッド類は、十分に乾かしてから取り付けてください。

洗剤を使用した場合、洗剤をしっかりと洗い流してください。

本体シェル、本体ベース、ベルトクリップおよびベルトクリップの入った袋、ベルト類は、次のように汚れを落としてください。

- 水またはお湯をきつくしぼった布で汚れを拭き取ってください（汚れがひどい場合には、水またはお湯に中性洗剤を薄く混ぜてください。洗剤を使用した場合、しっかりと洗い流してください）
- ガンリンや有機溶剤、クレンザーなどの研磨剤は絶対に使わないでください
- 水やお湯、洗剤を直接掛けしないでください

危険

本製品のお手入れのためでも、潤滑油は絶対に使用しないでください。潤滑油が付着すると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

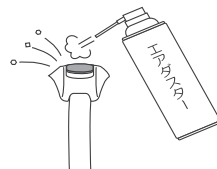
注意

洗剤を使用した場合には、しっかりと洗剤を拭き取ってください。

万が一、本体シェルや本体ベースを濡らしてしまった場合、十分に乾かすようにしてください。

バックルは、次のように汚れを落としてください。

- 差し込みタンクは、水またはお湯をきつくしぼった布で汚れを拭き取ってください（洗剤は使用しないでください）
- 受けバックルは、バックルの中のゴミを掃除機で吸い取るか、エアダスターなどを使用して汚れを吹き飛ばすようにしてください



お手入れのしかた

⚠ 危険

バックルが正常に機能しなくなりますので、潤滑剤、サビ止め、薬品などを使用しないでください。

バックルに異常が認められる場合、そのまま使用せず、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

📖 ポイント！

差し込みタンクに汚れが付着したり、受けバックルの中に食べかすやゴミなどが入るとバックルが正常に機能しなくなるおそれがあります。

これを防ぐため、お子さまが使用していない時や、本製品を保管する際にも、バックルを留めておくようにしてください。

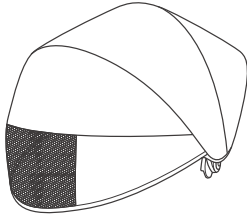
本製品の廃棄について

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指定に従い、正しく廃棄するようにしてください。

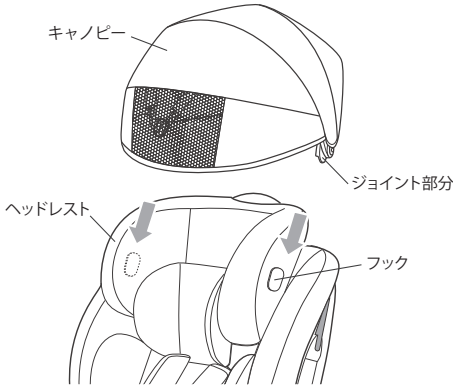
また、再利用による事故を防ぐため、「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようにしてください。

キャンピーの使用法

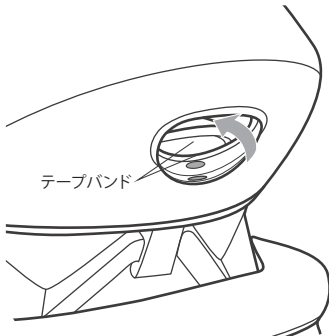
キャンピーの使用法 キャンピーの取付方法



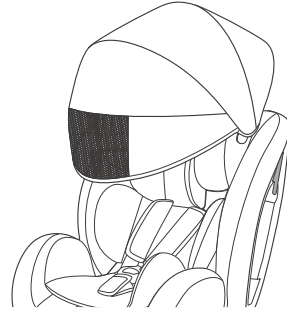
- 01 キャンピーを取り付ける場合は、キャンピーの両側に付いているジョイント部分をヘッドレストの外側に付いているフックにスライドさせて取り付けて下さい。



- 02 キャンピーの後部に付いているテープバンドをヘッドレストのテープバンドに取り付けて下さい。

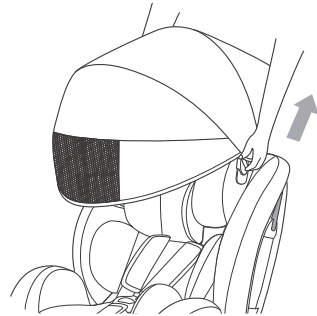


- 03 キャンピーが確実に取り付けられていることを必ず確認して下さい。



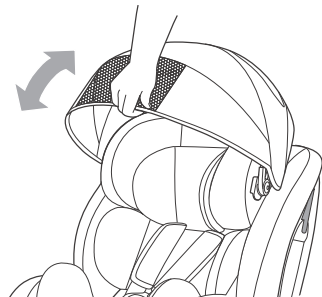
キャンピーの取外し方法

キャンピーを取り外す場合は、キャンピーの両側に付いているジョイント部分を矢印方向へ引っ張り、取り外して下さい。



キャンピーの使用法

キャンピーは開閉したり、内側に折畳むことができます。



MEMO

MEMO

MEMO

MEMO



P-IM0011D

